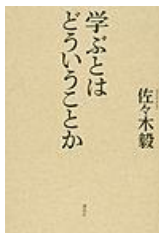


学ぶとはどういうことか 01



著者：佐々木毅

「学ぶ」とは「学び続ける」ことである。現代の碩学が、様々なテーマで、「学ぶ」ということを考察する。

池上彰の教養のススメ 02



著者：池上彰

教養は、生き抜くための「最強の武器」になる。「教養」とは何か、学ぶとどんないいことがあるのか。

考える力がつく本 03



著者：池上彰

本、新聞、ニュース番組、雑誌、ネット。媒体をうまく使い分け、考える力を身につける実践的な方法を紹介。

大人になるためのリベラルアーツ:思考演習12題 04



著者：石井洋二郎、藤垣裕子

「絶対に人を殺してはいけないか」など、簡単に答えの出ない問題と格闘し、思考力を鍛える書。

学問のしくみ事典: 05



あらゆる「学」の歴史とつながりがわかる

著者：日本実業出版社 編

人文科学から社会科学、自然科学、文化芸術までさまざまな学問の歴史とつながりがわかる一冊。

AI vs. 教科書が読めない子どもたち:Artificial intelligence vs. Children who can't read textbooks 06



著者：新井紀子

気鋭の数学者が日本人の読解力の低下を指摘。AI化が進んだ未来の最悪のシナリオと教育への提言を導き出す。

人工知能と社会: 07



2025年の未来予想

著者：栗原聡

第一線の研究者らが2025年に人工知能が到達している地点を予想、これからの社会に生かすための技術を解説。

そろそろ、人工知能の 08



真実を話そう

著者：ジャン=ガブリエル・ガナシア

「AIの能力が人間を凌ぎ、機械的支配が進んで世界が大きく変容する」というのはインチキだ!

これからの世界をつくる仲間たちへ 09



著者：落合陽一

コンピュータに仕事を奪われ、勉強して得た知識は役に立たず…。そんな世界で生きるためにどうすればいいのか。

つながっているのに孤独: 人生を豊かにするはずのインターネットの正体 10



著者：シェリー・タークル

テクノロジーが人間関係に及ぼす「今そこにある危機」を、マサチューセッツ工科大学教授が語る。



もし20代のときに この本に出会っていたら： 後悔しないための読書

11

著者： 鷺田小彌太

本はすべてのことを教えてくれる！
なににもでもない時代を生きる不安や
つらさから抜け出るための読書7則。



読書について

12

著者： ショーペンハウアー 著

なにを、どう読むか。あるいは読まず
にすませるか。哲学者・ショーペンハ
ウアーが、紹介する知的読書法。



三方よしの人間学

13

著者： 廣池千九郎

法学博士にして教育者、そして救済活
動家。新たな倫理観を打ち立てた偉人
の箴言集！



徳づくりの経営

14

著者： モラロジー研究所

現代の中小企業が道経一体の経営を実
現するためにはどうすべきかを綴る。